

戦争法強行の

自公が牛耳る現職にNO!

民主が相乗り

2・7 おこそろう 京都シヨック

戦争法強行後におこなわれる全国注視のたたかい。「戦争法廃止」を掲げ、「全国平和首長懇談会」をよびかける市長が京都で誕生すれば、民主主義と立憲主義をとりもどす、巨大な「シヨック」を全国に広げます。

力をあわせて京都から 戦争法なくそう

広がる願いを、こぞつて 女性「憲法市長」の誕生へ



安保法制廃止へ「市民連合」結成



12月20日、「市民連合」結成の記者会見

安保法制(戦争法)に反対してきた諸団体の市民有志は12月20日、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(略称=市民連合)を結成しました。熊本(定数1)では戦争法廃止へ、市民と5野党が結集。夏の参院選へ、統一候補が実現しました。

「主導権を握るのは自民」 ——12月22日「読売新聞」 現職市長のトシデモ言行録

- 消費税**
 - 10%増税に反対せず。8%増税の時には、増税分を転嫁して、市バス、地下鉄、水道料金、使用料などを軒並み値上げ。市民に総額27億円の負担増。
- 原発**
 - 「国の責任において稼働の必要性を明らかにし」と、再稼働を容認。
- 戦争法**
 - 議会で質問されても「見解はあえていわない」と容認。
 - 侵略戦争を肯定する団体「美しい日本の憲法をつくる京都府民の会」の設立総会に祝電。



安倍暴走を助ける 改憲の先兵

京都維新の会

松井代表や橋下前代表は、夏の参院選で、自民、公明と「おおさか維新」で3分の2以上の議席をめざし、改憲の体制をつくと宣言。

戦争法廃止へ

野党は協力してこそ!

民主党は、今回も「情けない話だが、今は協調路線で…」(12月22日「読売新聞」)と自民党・公明党に相乗り。

一週間後の八幡市長選でも同様の事態が…。

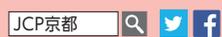
自民党主導の「オール与党」政治と決別し、野党の協力へ一歩ふみ出すべきときです。民主党には、ぜひ目を覚ましてもらいたいものです。

京都市政の転換へ、がんばります。

日本共産党



発行:日本共産党京都府委員会 2016年1月9日 Tel 075-211-5371
〒604-0092 京都市中京区丸太町新町角大炊町186
日本共産党京都府委員会は京都市政について上記の見解を發表しました。



7月 参院選

京都選挙区 (定数2)

自公退場、戦争法なくす政府へ



大河原としかか



こんな市政が 続けば大変

市民の声を聞かないのは 安倍首相と同じじゃないのっ!

京都のあらたな まちこわし

市民には 痛みのオンパレード



渋滞する四条通



写真左の石垣、緑地を駐車場にする計画



東山区の元清水小学校

四条通は、拡幅工事であの大渋滞に
「渋滞でバスはなかなか進まない。多額の税金を投入した割に効果は疑問だ」「朝日」12月13日」と不満続出。

世界遺産・二条城の敷地に大型駐車場、下鴨神社に高級マンションを計画
大企業のもうけのために、規制緩和とまちこわしを進め、このままでは京都が京都でなくなりそうです。

学校の跡地利用も 独断専行
市民の寄付でつくった歴史ある学校。防災や地域コミュニケーションの拠点になっている15の跡地を、民間企業のもうけのために貸し付け。

市営保育所を次々と民間移管 保育予算を削減
2014年までは25園あった市営保育所を10も廃止・民間移管。保育予算を削減、保育への公的責任を投げ捨てようとしています。

子どもの医療費無料化は府内最低の「3歳未満」(通院)
高卒、中卒まで無料化が広がる中、「通院」で京都府の制度に上乗せしていないのは京都市だけ。

敬老乗車証の改悪に執念
今年9月以降は「規定方針どおり」と、市バス地下鉄に乗るたびに100円程度払う制度への改悪を明言。

相次ぐ値上げラッシュ
● 国民健康保険料は2008年から3年連続値上げ。子どもの学資保険まで差し押さえるなど、滞納差し押さえは7年で5倍。
● 保育料などの公共料金を軒並み値上げ。

子どもは未来。いのちは平等 市民の声を大切に

女性代表で

あなたの願いを託して下さい



命とくらしを守る市政に変えましょう

憲法違反の戦争法廃止へ 原発ゼロ。消費税10%は中止を



● **「全国平和首長懇談会」**をよびかけ、戦争法廃止を全国に発信
● アベ暴走政治にキッパリ反対

保育園に入れるようにして 子どもの医療費の窓口払いなくして



● **「子ども未来局」**で子育ての悩み、困りごと解決
● 保育所・学童保育所を増設
● 中学校卒業まで医療費無料化

国民健康保険料を下げて 敬老乗車証をなくさないで



● **「長寿「サポート計画」**でお年寄りに「尊厳ある人生」を
● 国保料の引き下げ、敬老乗車証の拡充

地元の中小業者を支援してほしい ブラックバイトをなくして



● **「中小企業地域振興基本条例」**で中小企業を応援
● **「若者雇用おうえん条例」**で「働く貧困」を解決

学校の跡地活用は住民のために 京都のまちを守ってほしい



● 景観、学校・公共施設跡地は市民の財産
● **「区民協議会」**をつくり、住民参加のまちづくり

日本共産党

みなさんと力をあわせて 実現してきました。

これまで、 これからも

ムダづかいストップ 市内高速道路(2900億円)中止

総額5800億円、ムダと環境破壊の京都市内高速道路計画は、30年以上にわたり市民と力をあわせ、未着工3路線(堀川線・西大路線・久世橋線)を計画断念させています。トラブル続きの焼却灰溶融施設(運転経費年間20億円)も契約解除させました。

京都のまちと景観を守る 大文字山ゴルフ場、鴨川フランス橋ストップ

1989年の市長選挙で大争点となった大文字山ゴルフ場建設計画や鴨川へのダム建設(90年)、フランス橋計画(98年)など、まちこわしの計画が持ち上がるたびに、京都を愛する市民と共同して断念させてきました。